

道徳通信

令和3年4月20日



「自分の「よさ」をみつめよう」～道徳「優しさの光線」を通して考えました～

翔は、このところ毎日のように保健室に来ています。勉強しても成績は上がりず、得意なことも好きなことも見つからず、自信を失っていました。養護の藤崎先生に将来の夢をきかれても、わからないとしか言えません。土曜日の夕方、翔は犬を抱いた藤崎先生に出会い、先生の勧めで震えている犬を抱きました。すると、その犬の震えは止まります。藤崎先生は、翔の、翔にしかない優しさが犬に伝わったのだと褒めてくれました。翔は、自分にしかないものが見つけられれば、将来の夢が見えてくるのかもしれないと思い、久しぶりに空を見上げました。授業では、翔の気持ちの変化に注目し、自分の「よさ」について考え、今後の自分を見つめました。

●● ●●くん

初めて自分の「よさ」に気がつけた。友達に自分の「よさ」を言ってもらえて嬉しかった。

●● ●●くん

「よさ」をみつめて強みにしていく。「よさ」で悪いところをカバーする。

●● ●●くん

自分の「よさ」をみつけることは、自分にとっては難しくても、相手（きっかけになる人）が自分の「よさ」を知ってくれていることで、自分に自信がもてるのではないかと思った。その「よさ」が将来につながるかもしれないことを学んだ。

●● ●●さん

自分の「よさ」を見つめながらも、新しい自分の「よさ」をみつけることができれば、将来の夢は大きく、たくさんの選択肢の中から選ぶことができると思う。

●● ●●さん

自分の「よさ」は自分ではわからなかったので、知ることができよかった。その「よさ」を知ったうえで、もっと「よさ」を伸ばして、誰かのためになりたいと思った。「まだ分からないんです」と答えた翔と私も同じ気持ちだったので、自分のことについても深く考えることができた。そして、自分の「よさ」を生かして、私にしかできないことがしたい。また、自分でも自分の「よさ」をみつけれられるようになりたいと思う。

●● ●●さん

自分の「よさ」はいつの間にかあって、それを自分でみつけるものではなく、周りの人にみつけてもらうものだった。翔も、自分のいいところや将来の夢がないと思っていて、自信を失いかけていたけど、藤崎先生に自分の「よさ」をみつけてもらって、自分に少し自信がもてていたから、人にみつけてもらって、それを自分でまた深めていけたらなと思った。

●● ●●さん

自分にしかないものをみつけて、それを生かしていきたい。また、自分自身がまだ知らない一面をみつけていくことが大切だと思った。そのために、自分に自信をもって、今までにやったことのないことに挑戦していこうと思った。私も将来の夢があまり決まっていなくて、翔と同じように不安だったけど、少しずつ自分について知っていき、決めようと思った。

●● ●●さん

私も翔と同じで、自分の将来の夢や得意なことがよく分からないけど、自分の「よさ」をしっかりと見つめ、それを生かし、伸ばせることができるものをみつけていきたいと思った。私も将来に焦りや不安があったけど、前向きに考えていきたい。もっと、自分の「よさ」を増やしていきたいと思った。